



令和5年(2023)9月23日 第68号

高槻・五領の環境と 子どもの未来を守る会 News



「防災フェスタ 2023」 安満遺跡公園 に参加して

防災講座では、自助の大切さ「情報収集とそれに基づく適切な行動が大事！」について、水害事例、記録的短時間大雨情報、長周期地震動、南海トラフ地震などの考察を交えての講演でした。

水害事例として、平成27年常総市鬼怒川水害では4,200人を救助するのに10日間かかっている。浸水すると、電気、ガス、水道のライフラインが停止するため、浸水時に自宅の2階などに垂直避難すると長期間孤立するリスクがある。浸水しない地域に避難することが望まれる。淀川が決壊すると1週間から2週間、芥川が決壊すると3日間程度、水が引かない。食料、飲料の備蓄やトイレ対応などが必要であると聴講し、水害の危険があるとき、安易に垂直避難すればよいと考えていましたが、避難対応を見直す必要があると感じました。

自衛隊の方による土のうの積み方の解説では、市販されている土のう袋は縫った作業工程のまま売られており、ひっくり返して使っていることや、土のうを積むときはレンガなどで叩いて台形にして積んで行くなど、初めて聞くことがあり、大変参考になりました。

防災講演などの機会があれば、参加してみることが重要であると感じた有意義な一日となりました。(H.U)

最初の土のうは台形に

- 1 結び目は下に折り込みます。
- 2 最初の土のうの形は台形に。
- 3 手で大きな形をつかったあとは、土羽打ちなど平らな面のついたもので叩いて形を整えます。
- 4 隣の土のうは、最初に合わせるようにして平行四辺形に。
(土のうの同士の接着面積が大きくなり、崩れにくくなります。)



土のうは千鳥に積む

- 1 崩れにくい土のうの積み方②で作った土台の上に、接着面を隠すようにずらしながら、積んでいきます。
- 2 1段目と同様に、最初は台形、続いて平行四辺形。そうすることで重み分散します。
- 3 土のうは必ず千鳥に積みましょう！
- 4 2列にすることでより崩れにくくなります。

メディアテーク情報 ① 2023.09

「メディアテーク」密やかなスタート🍀

これまで手を替え品を替え行政へ要望出すも、残念ながら歩み進められずでしたが、今年大いに奮起し自主的にですが、いよいよ細々ながらも「お庭カフェ」開店致します♥

10/17 お試し開店ではありますが、読んで欲しい本や伝えたい情報を持って参集します。

参集場所には、美味しい🍷飲み物をご用意して、気持ちのご寄付でご希望のものを選択、庭のテーブル囲んでお仲間とティータイムを楽しむ予定です🍵

今後、実り多いお時間重ねて、皆様にもお越し願えるカフェに向けて頑張りますので、どうぞ応援宜しくお願いします🙏

C.Y



本紙解説

メディアテーク五領は、以前「上牧・五領地区に図書館をつくる会」としてこの地区に図書館設置を要望していた。提出した要望書への市からの回答を2018年5月に受領したが、この方法ではこれ以上前進が望めないと、その後、「メディアテーク五領」に名称変更と方針変更したもの。このメディアテークとは、音楽や美術映像などの資料や様々な情報を提供する公共施設のこと。情報資料館、マルチメディア図書館を表す。以降、同会は五領地区の公共の遊休施設(旧五領保育園、市駅前施設等)の利用を含めコミュニティづくりを訴えてきたが、行政としては住民の有志による要望は、要望としても認められないとの事で門前払いをされていたとの事だ

そこで、このような提案では行政は動かないと悟った同会は、打ち合わせを重ねて、いよいよ、実行プランを持った実践グループによる行動に移るようだ。姿新しく登場する同グループに注目して頂きたい。

五領地区 環境測定 (NO2) 第9回の状況報告② (2023.09.23)

“守る会”による NO2 測定による地区環境測定は、2018年6月より始め、年2回(コロナによる中止期間を除く)実施、2023年6月が第9回目となった。守る会ニュース67号(2023. 8月号)に第9回測定の結果を各測定値の個別値として報告した。

私たちは今までも、全測定場所を7種類に分類し、五領地区内の場所による特性でどのような特徴があるかを調べていた。この分類に基づいて今までの全9回のデータの平均と今回の結果を下表に示す。いずれの箇所も、今回の値は全平均値もより若干高い値になっている。また、今回の結果においても、全データ平均でも、A(171号線道路沿い)、F(名神高速近傍)が、他と比較して高い値を示している。また、いずれのデータにおいても、世界保健機構(WHO)基準値、12ppbを下回った値はない。

今回の集計においても、“全日本年金者組合 高槻支部 環境測定サークル”殿測定値のうち五領地区のデータ22か所を使用させていただきました。

次回測定は、12月7～8日の予定。

m/m

取付場所の分類

取付場所の分類	9回目 6月測定		④～⑨回 全体			
	測定回数	平均ppb	測定回数	平均ppb	最大ppb	最小ppb
☆A 幹線道路沿い(171号線沿い)	8	31.1	61	26.4	59	5
☆B 幹線道路近傍(R171より概ね100m以内)	3	16.7	26	16.4	26	3
☆C 生活道路沿い(住宅地で車通行の比較的多い場所)	14	20.3	129	16.3	38	3
☆D 住宅地	14	21.1	104	15.3	29	5
☆E 田圃地帯	7	15.3	59	13.4	25	3
☆F 名神高速近傍(梶原～萩之庄～山手地区に至る名神沿い(本来は住宅地))	9	32.7	70	23.8	46	7
☆W 淀の原町、東上牧3丁目～淀川沿いの住宅地	9	18.6	69	13.7	24	2
合計	64		518			

⑤ コサメビタキ

スズメ目ヒタキ科サメビタキ属



コサメビタキ

2015年頃から、鶴殿で見られなくなりました。

(野鳥図鑑他より)アイリングが太めで、目がかわいい目先とアイリングの白が目立つタキ類。夏鳥として九州以北に渡来。平地から山地の落葉広葉樹林などに生息し、渡り期には公園でも見られる。主にフライングキャッチをして、空中の昆虫類を捕食する。繁殖期でもはっきりさええず「ツィ、ツィ」という声で複雑な声でぐずる。サメビタキより小さいのが和名の由来。

④ コアジサシ

チドリ目カモメ科アジサシ属



コアジサシ

2016年頃から、鶴殿で見られなくなりました。

(野鳥図鑑他より)身近な環境で見られるアジサシ。公園の池など身近な環境でも見られるアジサシ類。水上をホバリングして獲物を探し、ダイビングして捕食する。夏鳥として本州以南に渡来して、海岸、河川、河口、湖沼などに生息し、主に魚類を捕食する。「キリッ、キリッ」と鋭い声を発しながら飛翔する。埋立地や砂浜にコロニーを形成、地上に営巣。個体数が減少。

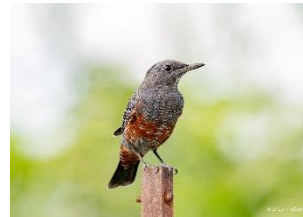
次回 10月の“守る会”開催日程 開始時間が14時になっています。
10月28日(土曜日)14時～15時 上牧公民館

五領・鶴殿写真情報 2023年9月21日他 撮影：大倉清教氏

大倉氏は淀川河川敷の鳥を中心に五領地区の自然を撮影しておられます。氏のホームページには毎日のように写真が掲載されます。

以下の写真は、氏の Facebook より主に鳥の写真を転載させて載せております。

ホームページ : <https://www.facebook.com/Kiyonori.Ookura>



イノヒヨドリ



あっ・・・という表情の
ゴイサギ



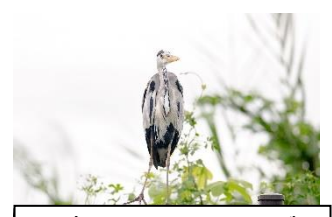
ホシゴイ
(ゴイサギの幼鳥)



けたたましく鳴くモズ



久しぶりのヒクイナ、傷
草の上を闊歩している



リズムに乗ってスイング
してるアオサギ

発行 : 高槻・五領の環境と子どもの未来を守る会

代表 : 上田 博夫

住所 : 〒569-0003 大阪府高槻市上牧町1丁目3-17 上牧公民館内

電話番号 : 090-2283-1619 (村井)

ホームページ : <https://takatsukigoryo-mamorukai.jimdofree.com/>

編集部: やっと秋の気配が漂い始めました。今年は稀にみる暑い夏が長く続きました。小学校の頃、地球の将来を次の様に教わりました。「今は第4間氷期の終末で、地球はこれから氷河期に入る」と。終に人類は地球規模に影響を及ぼす存在になる。地球にとっては氷河期到来。

次回「守る会」定例会は2023年10月28日、第4土曜日

14:00～15:00、上牧公民館(上牧町本澄寺前)で開催します。

連絡は、事務局村井(masa569@tcn.zaq.ne.jp)(090-2283-1619)迄